



広報

なほ

市民の友

第649号 毎月1回発行
2005年(平成17年)

2月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 光文堂印刷機

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2004(平成16)年12月末現在	
総人口	313,414 (1,922)
男	151,640 (997)
女	161,774 (925)
世帯数	125,383 (1,132)
本 庁	90,841
真和志	105,472
首 里	59,025
小 緑	56,154

祝 はたちの記念事業

歩き出そう 自分の道だから



本庁地区(上山中)



小緑地区(小緑中)



真和志地区(真和志中)



首里地区(石嶺中)

主な紙面
市職員の給与見直し
銘別小学校・幼稚園が開校します
インターネットで結ぶ
就職・起業を応援します
情報PACK
7 6 5 3 2

若者のやる気を
応援できる大人に
成人の日前にした1月8日(土)、市が主催する「はたちの記念事業」歩き出そう、自分の道だから」がパレット市民劇場で開催されました。3回目となった今年は、県内で活躍する20歳未満のみなさんの表現の場として発表され、那覇太鼓のエイサー、演舞のほか、「100 MARKS」、「D・RUSH」のコンサートや笑いコンビ「しゃもじ」の漫才が行われ、パワーあふれるライブ・パフォーマンスに、会場から力強い拍手が送られました。

20代・30代のみなさんが自由に意見を交わす「My Style」若者のしゃべりば」では、「チャレンジ」をテーマに、それぞれの体験を通じた熱弁が繰り広げられました。「チャレンジしても、周囲の人に批判ばかり浴びせられたが、目標をもって実行したことで地域の協力を得ることができた」(24歳・学生)、「若者の無限の可能性を活かし、周囲の大人が若者のチャレンジをサポートすることも大人のチャレンジであり、そうあつてほしい」(28歳・観光企画)などの意見が交わされました。市長は、「今の成熟した社会に夢と希望は持ちにくい、お互い尊重し合い、ボランティアなどを通して一緒に支え合うことが大切」と話しました。

また、1月9日(日)・10日(月)には、地域主催の成人式が市内中学校17校区、15カ所で開催されました。

市長 2人談 TAIDAN 21

翁長雄志市長 「新都心の自然と遊ぶ」という本の出版やエコネットワークの会長としてたいへん活躍されているといます。

安仁屋俊信さん 市が事業所を対象に行った「ふみ」に関するアンケートをきっかけに、分別や環境にやさしい商品の販売など、わが社の取り組みを発表したことから、那覇市の環境行動計画を推進する準備委員になり、今はエコネットワークの会長を務めることになりました。今年「遊べる川作り」をテーマに活動しようと思っています。

市長 幼い頃は安里川でターザンごっこをしたり、真嘉比川に泳ぎに行ったり、よく川遊びをしました。私は川から環境問題をみながら考えてもらいたいと思ってたのですが、この本では、子どもの冒険心を満たしながら、考えていけるかなと。

安仁屋 活動するには、楽しむことが大事です。北部の清らかな川で家族や友達と遊びながら、昔、ガープ川で遊んだ記憶をよみがえらせました。子どもたちは川で探検したり、大人もその周辺でコーヒーを飲んだり、その風景を想像するだけで

も楽しくなります。

市長 好奇心とか探究心を持ちながら、気張らずにやってみようというのが本来の姿だと思います。

安仁屋 そのような思いが、いつの間にか地域を巻き込み、みんなで考えるまちづくりにつながると思います。

その意味で新都心は、自然環境にも恵まれ、これからの協働のまちづくりには最適な場所です。

市長 新都心に残る自然を行政もがんばって守るようしていきたいです。

安仁屋 エコネットワークは行政と市民、事業者、NPOの協働でスタートしました。これまでは行政からの助成金などの支援がありました。今後は一人立ちしなくてはなりません。

市長 それぞれが得意な分野があると思います。お互いが自由な発想で協力していきたいですね。

まちづくりを楽しもう


